

高病原性鳥インフルエンザ続発,今季9例目 ～発生が福岡県にも拡大!!～

令和2年11月25日、福岡県の養鶏場において、高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)の疑似患畜が確認されました。

環境中にはウイルスは既に存在していると想定し、野鳥や野生動物の対策を強化し、農場内へのウイルス侵入防止の徹底をお願いします。

1 発生確認年月日

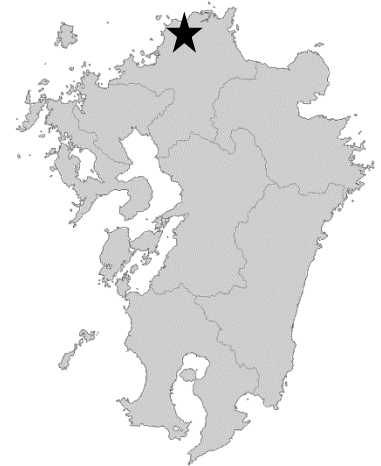
令和2年11月25日

2 発生場所及び飼養状況

福岡県宗像市 肉用鶏(約9.4万羽)

3 経緯

- ・11月24日 死亡羽数が増加したため、簡易検査を実施し陽性
- ・11月25日 遺伝子検査でH5亜型と確認され、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と判定



<特に以下の予防対策の点検・確認を再度お願いします>

- ・異常家きん発生時の早期通報の徹底
- 野鳥や野生動物の侵入防止対策の確認と徹底(防鳥ネット・壁・金網等の破損箇所の修繕)
- 農場及び鶏舎出入口での消毒の徹底
- 鶏舎毎の靴の履き替え
- 農場の近隣に池や沼等がある場合は、特に注意してください。

【参考】国内の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ(疑似患畜)の発生状況
香川県 R2.11.5~21 8例12農場(疫学関連4農場を含む)
合計約134万羽処分

★家きんに異常が認められた場合は、速やかに、かかりつけの獣医師又は最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。

県央家畜保健衛生所	TEL:028(689)1200	携帯:090-7205-0895(夜間・休日)
県南家畜保健衛生所	TEL:0282(27)3611	携帯:090-7205-1402(夜間・休日)
県北家畜保健衛生所	TEL:0287(36)0314	携帯:090-7205-1826(夜間・休日)